

公益財団法人 SGH 財団
2026 年度私費外国人留学生奨学生の募集

2026.3.23

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 東南アジア諸国の国籍を有する私費外国人留学生(詳細は要項参照, 在留資格「留学」)
- 2) 2026 年 4 月 1 現在、学部 2,3 年次に進級, 又は修士課程 1 年次へ入学, 又は博士課程 2 年次へ進級する者
 - ※ 他部局の博士課程(前期)1 年次へ入学される方は, 当該部局へ応募して下さい。
- 3) 2026 年 4 月 1 日現在で, 学部学生は 27 歳未満, 大学院学生は 35 歳未満の者
- 4) 2026 年 4 月以降に他からの奨学金を受けない者
(総長特別奨学生は応募可能だが併給不可(採用時にどちらかを選択)、他奨学金及び学内プログラム併給不可)
- 5) 日本語によるコミュニケーションが可能な者
 - * 留学目的を日本語で説明するのに十分な能力を有するもの
- 6) 下記日程で開催予定の財団が主催する交流会・採用証授与式に出席できる者
 - * オリエンテーション: 2026 年 7 月 3 日(金) * 交流会: 2026 年 10 月 17 日(土)~18 日(日)
 - * 採用証書授与式: 2026 年 10 月 19 日(月)

Sufficient Japanese ability especially in speaking is required to apply.

2 支給額及び支給期間

支給額: 月額 学士,修士課程-12 万円 博士課程-18 万円

支給期間: 学部 2 年次-3 年間 学部 3 年次,修士 1 年次,博士 2 年次-2 年間

3 提出書類 (日本語自筆, 楷書・活字体, 黒いペンで記入)

- 1) 奨学金申請書 (所定用紙・写真貼付・片面印刷)
 - ※ 在籍課程によって様式が異なるので注意。(学部 2:1-1,2,3,5),(学部 3:4-1,2,3,5),(MC:2-1,2,3,5),(DC:3-1,2,3,5)
- 2) 学業成績証明書 (学部以降、直近のものまで)
 - ※ 別添成績評価係数算出方法を参照の上、算出した係数を枠外に鉛筆書きで記入すること。
- 3) 在留カードの写し (表と裏を所定用紙に貼付, 学部 1-5, MC 2-5, DC 3-5)
- 4) 在学証明書 (MC 入学・進学者は「合格通知書」の写し)
- 5) 経済状況調書(所定様式)
- 6) 民間奨学金申請時の心得(所定用紙)
- 7) 私費外国人身上調書(所定用紙)
- 8) 家計状況申告書(所定用紙)
- 9) 指導教員の推薦理由書(所定用紙・片面印刷)
 - ※ 在籍課程によって様式が異なるので注意すること。(学部 1-4), (MC 2-4), (DC 3-4)
- 10) GPA 証明書
 - * 9)~10)は、工学部・工学研究科からの推薦が決まったら提出すること。

4 推薦人数

学部 2 年・3 年・修士課程 各1名 博士課程 2 名

5 申請書類の提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係 (中央棟 3 階)

6 締切日

2026 年 3 月 27 日(金)

公益財団法人SGH財団

2026 年度

私費外国人留学生奨学生募集要項

(学部 2 年次)

2026 年度奨学生募集について、日本の大学の学部¹⁾に在学する私費外国人留学生の中から奨学金の受給者（以下「奨学生」という）を下記の要項により募集する。

記

1. 応募資格

奨学生に応募できる者は、東南アジア諸国（注1）の国籍を有する私費外国人留学生（注2）で、2026年4月1日現在（注3）において、下記の要件をそなえる者とする。

- (1) 学部 2 年次及び 6 年制学部コース（医・歯・獣医・薬学部）の 4 年次に進学する 27 歳未満の者。
- (2) 学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者。
- (3) 他の奨学金を受給していない者。
- (4) 奨学金の給付期間中において、当財団が主催するオリエンテーション・交流会・採用証書授与式に出席できる者。
オリエンテーション：2026年7月3日（金）開催予定
交流会：2026年10月17日（土）～18日（日）開催予定
採用証書授与式：2026年10月19日（月）開催予定
- (5) 奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者。

注1：東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。
フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ
ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア・東ティモール

注2：「私費外国人留学生」とは、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」という在留資格により、日本の大学、大学院において教育を受ける外国人学生で、日本政府から奨学金を受給していない者をいう。

注3：春期入学のみ対象・秋期入学は対象外

2. 奨学生採用予定人員 15名程度

3. 奨学金

奨学生として採用した者に対して、奨学金 月額 120,000 円を毎月 5 日迄に給付する。

4. 奨学金の給付期間

奨学金の給付期間は 3 年間とする。(2026 年 4 月から 2029 年 3 月まで)

5. 応募の手続き

- (1) 奨学生に応募する留学生は、学部 2 年次の申請書等〈別紙様式 1-1、1-2〉に下記の書類を添えて、大学が指定する日までに在学する大学宛に提出しなければならない。申請には、所定の用紙内に収まるように記入すること。なお、すべての申請用紙に自筆で日本語で記入すること。

【注意】 記入は黒いペンで楷書、アルファベットは活字体を使用

- ア. 指導教員等の推薦理由書〈別紙様式 1-3〉(当該様式のみ本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可)
- イ. 在留カードのコピー(表裏)〈別紙様式 1-5〉
- ウ. 学業成績証明書
- エ. GPA 証明書(学業成績証明書に記載されている場合は省略可)
- オ. 在学証明書

- (2) 大学は、前記(1)の申請者の中から適当と認めた者について、学長の推薦書〈別紙様式 1-4〉を添え、本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> のSGH奨学生申請フォームより推薦する。

6. 応募締切日

2026 年 4 月 17 日(金)

7. 選考及び決定

5 により大学から推薦があった者(1 名)について、本財団に設ける選考委員会に諮り、理事会の決議を経て決定する。

その結果については、在学する大学を通じて応募者本人に通知する。

(2026 年 5 月下旬頃を予定)

8. 奨学金の休止・停止及び期間の短縮

給付対象者の確定後、奨学生に次の各号に定める事項が認められる場合は、奨学金の給付を休止、停止及び給付期間の短縮を行うことができる。

- (1) 奨学生が休学又は長期にわたって欠席したとき。
- (2) 奨学生の学業又は性行等の状況により、奨学生として適性を欠くと認められるとき。

9. 奨学金の復活

8により、奨学金の給付が休止若しくは停止され、又は、期間を短縮された奨学生について、その事由が解消されたと認められる場合は、奨学金の給付を復活することができる。この場合、給付期間は通算3年間とする。

10. 奨学金の打ち切り

奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を打ち切りすることができる。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 大学若しくは大学院において懲戒等の処分を受け、成業の見込みがないと判断される時。
- (3) 申請時と異なる大学若しくは大学院に転学又は進学したとき。
ただし、指導教員の転勤等により奨学生が転学又は進学する場合を除く。
- (4) その他本財団奨学生としての不適格な状態となり、資格を失ったと判断される時。

11. 転退学

奨学生が退学又は他の大学若しくは大学院へ転学した場合は、特別の事情があると認められるときを除き、奨学金の給付を辞退したとみなす。

12. 返納

奨学金の給付後において、8、10、又は11の各号の事由が生じていたことが判明した場合には、既に給付した奨学金の全部又は一部は返納させることができる。

13. 報告書の提出

本財団が、奨学生に学業・研究等について照会を求めた場合は、これについて報告書を提出しなければならない。

14. 届出の義務

奨学生は、次の各号の一つに該当する事情が生じた場合は、本財団に届け出なければならない。ただし、本人が疾病等のために不可能なときは、所属大学又は家族から届け出なければならない。

- (1) 傷病、その他の事故により、1 カ月以上欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転科、転学部及び退学したとき。
- (3) 他の奨学機関から給付を受けるとき。
- (4) 本人、家族の身上、住所等、重要な事項に異動があったとき。
- (5) その他本財団が上記各号等について確認を求めたとき。

15. 注意事項

他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者とししない。

問合せ先

〒 600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 79 番地

ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

公益財団法人 S G H 財団 事務局

MAIL info_ss@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp>

TEL 075-255-9310

FAX 075-255-9311

個人情報の保護について:

申請書に記載された内容・提出書類は個人情報として保護されます。

ただし、次のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類審査・選考のため選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学担当者及び奨学団体に「被推薦者・合格者一覧」を提供。

公益財団法人SGH財団

2026年度 私費外国人留学生奨学生申請書

(学部2年次)

記入上の注意

①日本語で記入

②自筆のこと

1. 氏名 (カタカナ) _____

(パスポート記載の英語表記) _____

2. 国籍 _____

3. 生年月日 _____年 _____月 _____日 (満 _____歳 _____ヵ月)
(年齢は、2026年4月1日現在で記入のこと)

4. 現住所 〒 (_____) _____

電話番号 (_____) _____

5. 在籍大学 _____大学 _____学部 _____学科 _____年次 _____
(2026年 _____月 _____日現在) 理系 文系

入学年月日 _____年 _____月 _____日 入学

所在地 〒 (_____) 電話番号 (_____) _____

6. 学歴

教育機関の種類	学校名および所在地	修学年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位または資格等
高等学校から	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		

7. 日本語の学習歴 日本への入国年月 : _____年 _____月

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習期間 _____年 _____月から _____年 _____月まで (_____年 _____ヵ月間)

(3) 日本語能力 _____上級・中級・初級(※) 日本語能力試験 : N (_____) 合格

(※) 該当すると思うレベルに○印を付すこと。

8. 職歴 (アルバイト含む)

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

9. 家庭状況

氏名	続柄	年齢	職業	年収額	住所
	父			万円	
	母			万円	

・年収額は、見込額も含め、必ず1年間分（12ヵ月分）の概算額または予定額を記入すること。
 無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

10. 経済状況（2025年月額平均を記入）

・次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。
 なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額の金額は、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 _____ 円 ※①から④の合計を記入

- ①仕送り額 月額 _____ 円
 （仕送り者との続柄および職業）続柄 _____ 職業 _____ （仕送り者の年収額） _____ 円
- ②アルバイトの収入額 月額 _____ 円 職種 _____
- ③アルバイト以外の収入額 月額 _____ 円 預金引出・配偶者の収入・その他（ _____ ）
 （該当するものに○印を付すこと）
- ④奨学金 月額 _____ 円 名称 _____
 受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月（終了20 _____ 年 _____ 月）

(2) 1ヵ月の平均支出額 _____ 円（生活費を計上のこと）※①から④の合計を記入

- ①住居費 月額 _____ 円
 自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他（ _____ ）
 （該当するものに○印を付すこと）
- ②授業料その他大学所定の納付金等 月額 _____ 円
- ③食費 月額 _____ 円
- ④その他の支出額 月額 _____ 円（交通費等日常経費を具体的に記入のこと）
 内訳項目 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2026年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2025年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団体名 _____ 月額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のおり記載事項に相違ありません。

私は、2026年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたく申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2026 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

2026 年度

推薦理由書

(学部 2 年 次)

公益財団法人SGH財団
理事長 栗和田 榮一 殿

カタカナ		国籍	
氏名 (英語表記)		生年月日	年 月 日生
大学名	大学	入学年月	年 月 入学
学部	学部	学科	学科 年次 年次 (2026年度)

推薦理由 (他の学校から編入された留学生の場合、その学校の成績について推薦者の判断を併せて明記して下さい)

推薦者 (指導教員・学科主任等)

2026 年 月 日

所属機関	
職 名	
氏 名	印

2026 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏

公益財団法人SGH財団

2026 年度

私費外国人留学生奨学生募集要項

(学部3年次)

2026年度奨学生募集について、日本の大学の学部^に在学する私費外国人留学生の中から奨学金の受給者（以下「奨学生」という）を下記の要項により募集する。

記

1. 応募資格

奨学生に応募できる者は、東南アジア諸国（注1）の国籍を有する私費外国人留学生（注2）で、2026年4月1日現在（注3）において、下記の要件をそなえる者とする。

- (1) 学部3年次及び6年制学部コース（医・歯・獣医・薬学部）の5年次に進学する27歳未満の者。
- (2) 学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者。
- (3) 他の奨学金を受給していない者。
- (4) 奨学金の給付期間中において、当財団が主催するオリエンテーション・交流会・採用証書授与式に出席できる者。
オリエンテーション：2026年7月3日（金）開催予定
交流会：2026年10月17日（土）～18日（日）開催予定
採用証書授与式：2026年10月19日（月）開催予定
- (5) 奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者。

注1：東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。
フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ
ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア・東ティモール

注2：「私費外国人留学生」とは、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」という在留資格により、日本の大学、大学院において教育を受ける外国人学生で、日本政府から奨学金を受給していない者をいう。

注3：春期入学のみ対象・秋期入学は対象外

2. 奨学生採用予定人員

15名程度

3. 奨学金

奨学生として採用した者に対して、奨学金 月額 120,000 円を毎月 5 日迄に給付する。

4. 奨学金の給付期間

奨学金の給付期間は 2 年間とする。(2026 年 4 月から 2028 年 3 月まで)

5. 応募の手続き

- (1) 奨学生に応募する留学生は、学部 3 年次の申請書等〈別紙様式 4-1、4-2〉に 下記の書類を添えて、大学が指定する日までに在学する大学宛に提出しなければならない。申請には、所定の用紙内に収まるように記入すること。なお、すべての申請用紙に自筆で日本語で記入すること。

【注意】記入は黒いペンで楷書、アルファベットは活字体を使用

- ア. 指導教員等の推薦理由書〈別紙様式 4-3〉(当該様式のみ本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可)
- イ. 在留カードのコピー(表裏)〈別紙様式 4-5〉
- ウ. 学業成績証明書
- エ. GPA 証明書(学業成績証明書に記載されている場合は省略可)
- オ. 在学証明書

- (2) 大学は、前記(1)の申請者の中から適当と認めた者について、学長の推薦書〈別紙様式 4-4〉を添え、本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> のSGH奨学生申請フォームより推薦する。

6. 応募締切日

2026 年 4 月 17 日(金)

7. 選考及び決定

5により大学から推薦があった者(1名)について、本財団に設ける選考委員会に諮り、理事会の決議を経て決定する。

その結果については、在学する大学を通じて応募者本人に通知する。

(2026 年 5 月下旬頃を予定)

8. 奨学金の休止・停止及び期間の短縮

給付対象者の確定後、奨学生に次の各号に定める事項が認められる場合は、奨学金の給付を休止、停止及び給付期間の短縮を行うことができる。

- (1) 奨学生が休学又は長期にわたって欠席したとき。
- (2) 奨学生の学業又は性行等の状況により、奨学生として適性を欠くと認められるとき。

9. 奨学金の復活

8により、奨学金の給付が休止若しくは停止され、又は、期間を短縮された奨学生について、その事由が解消されたと認められる場合は、奨学金の給付を復活することができる。この場合、給付期間は通算2年間とする。

10. 奨学金の打ち切り

奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を打ち切りすることができる。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 大学若しくは大学院において懲戒等の処分を受け、成業の見込みがないと判断される時。
- (3) 申請時と異なる大学若しくは大学院に転学又は進学したとき。
ただし、指導教員の転勤等により奨学生が転学又は進学する場合を除く。
- (4) その他本財団奨学生としての不適格な状態となり、資格を失ったと判断される時。

11. 転 退 学

奨学生が退学又は他の大学若しくは大学院へ転学した場合は、特別の事情があると認められるときを除き、奨学金の給付を辞退したとみなす。

12. 返 納

奨学金の給付後において、8、10、又は11の各号の事由が生じていたことが判明した場合には、既に給付した奨学金の全部又は一部は返納させることができる。

13. 報告書の提出

本財団が、奨学生に学業・研究等について照会を求めた場合は、これについて報告書を提出しなければならない。

14. 届出の義務

奨学生は、次の各号の一つに該当する事情が生じた場合は、本財団に届け出なければならない。ただし、本人が疾病等のために不可能なときは、所属大学又は家族から届け出なければならない。

- (1) 傷病、その他の事故により、1カ月以上欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転科、転学部及び退学したとき。
- (3) 他の奨学機関から給付を受けるとき。
- (4) 本人、家族の身上、住所等、重要な事項に異動があったとき。
- (5) その他本財団が上記各号等について確認を求めたとき。

15. 注意事項

他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者としなない。

問合せ先

〒 600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 79 番地
ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

公益財団法人 S G H 財団 事務局

MAIL info_ss@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp>

TEL 075-255-9310

FAX 075-255-9311

個人情報の保護について:

申請書に記載された内容・提出書類は個人情報として保護されます。

ただし、次のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類審査・選考のため選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学担当者及び奨学団体に「被推薦者・合格者一覧」を提供。

公益財団法人SGH財団

2026年度 私費外国人留学生奨学生申請書

(学部3年次)

記入上の注意

①日本語で記入

②自筆のこと

近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

1. 氏名 (カタカナ) _____

(パスポート記載の英語表記) _____

2. 国籍 _____

3. 生年月日 _____年 _____月 _____日 (満 _____歳 _____ヵ月)
(年齢は、2026年4月1日現在で記入のこと)

4. 現住所 〒 (_____) _____

電話番号 (_____) _____

5. 在籍大学 _____大学 _____学部 _____学科 _____年次 _____
(2026年 _____月 _____日現在) 理系 文系

入学年月日 _____年 _____月 _____日 入学

所在地 〒 (_____) 電話番号 (_____) _____

6. 学歴

教育機関の種類	学校名および所在地	修学年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位または資格等
高等学校から	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		

7. 日本語の学習歴 日本への入国年月： _____年 _____月

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習期間 _____年 _____月から _____年 _____月まで (_____年 _____ヵ月間)

(3) 日本語能力 _____上級・中級・初級 (※) 日本語能力試験：N (_____) 合格

(※) 該当すると思うレベルに○印を付すこと。

8. 職歴 (アルバイト含む)

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

9. 家庭状況

氏名	続柄	年齢	職業	年収額	住所
	父			万円	
	母			万円	

・年収額は、見込額も含め、必ず1年間分（12ヵ月分）の概算額または予定額を記入すること。
 無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

10. 経済状況（2025年月額平均を記入）

・次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。
 なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額のコレは、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 _____ 円 ※①から④の合計を記入

- ①仕送り額 月額 _____ 円
 (仕送り者との続柄および職業) 続柄 _____ 職業 _____ (仕送り者の年収額) _____ 円
- ②アルバイトの収入額 月額 _____ 円 職種 _____
- ③アルバイト以外の収入額 月額 _____ 円 預金引出・配偶者の収入・その他 (_____)
 (該当するものに○印を付すこと)
- ④奨学金 月額 _____ 円 名称 _____
 受給期間 _____ 年 月 ~ _____ 年 月 (終了20 年 月)

(2) 1ヵ月の平均支出額 _____ 円 (生活費を計上のこと) ※①から④の合計を記入

- ①住居費 月額 _____ 円
 自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他 (_____)
 (該当するものに○印を付すこと)
- ②授業料その他大学所定の納付金等 月額 _____ 円
- ③食費 月額 _____ 円
- ④その他の支出額 月額 _____ 円 (交通費等日常経費を具体的に記入のこと)
 内訳項目 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2026年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2025年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団体名 _____ 月額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2026年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたく申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2026 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

2026 年度

推 薦 理 由 書

(学 部 3 年 次)

公益財団法人SGH財団
理事長 栗和田 榮一 殿

カタカナ		国籍			
氏名 (英語表記)		生年月日	年 月 日生		
大学名	大学	入学年月	年 月 入学		
学部	学部	学科	学科	年次	年次 (2026年度)

推薦理由 (他の学校から編入された留学生の場合、その学校の成績について推薦者の判断を併せて明記して下さい)

--	--	--	--	--	--

推薦者 (指導教員・学科主任等)

2026 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名

印

2026 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏

公益財団法人SGH財団

2026年度

私費外国人留学生奨学生募集要項

(大学院修士課程)

2026年度奨学生募集について、日本の大学の大学院修士課程等に在学する私費外国人留学生の中から奨学金の受給者（以下「奨学生」という）を下記の要項により募集する。

記

1. 応募資格

奨学生に応募できる者は、東南アジア諸国（注1）の国籍を有する私費外国人留学生（注2）で、2026年4月1日現在（注3）において、下記の要件をそなえる者とする。

- (1) 修士課程（博士前期課程）の1年次又は一貫制博士課程の1年次に入学する35歳未満の者。
- (2) 学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者。
- (3) 他の奨学金を受給していない者。
- (4) 奨学金の給付期間中において、当財団が主催するオリエンテーション・交流会・採用証書授与式に出席できる者。
オリエンテーション：2026年7月3日（金）開催予定
交流会：2026年10月17日（土）～18日（日）開催予定
採用証書授与式：2026年10月19日（月）開催予定
- (5) 奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者。

注1：東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。

フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ
ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア・東ティモール

注2：「私費外国人留学生」とは、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」という在留資格により、日本の大学、大学院において教育を受ける外国人学生で、日本政府から奨学金を受給していない者をいう。

注3：春期入学のみ対象・秋期入学は対象外

2. 奨学生採用予定人員 5名程度

3. 奨学金

奨学生として採用した者に対して、奨学金 月額 120,000 円を毎月 5 日迄に給付する。

4. 奨学金の給付期間

奨学金の給付期間は 2 年間とする。(2026 年 4 月から 2028 年 3 月まで)

5. 応募の手続き

- (1) 奨学生に応募する留学生は、大学院修士課程（博士前期課程）の申請書等（別紙様式 2-1、2-2）に下記の書類を添えて、大学が指定する日までに在学する大学宛に提出しなければならない。申請には、所定の用紙内に収まるように記入すること。なお、すべての申請用紙に自筆で日本語で記入すること。

【注意】記入は黒いペンで楷書、アルファベットは活字体を使用

- ア. 指導教員等の推薦理由書（別紙様式 2-3）（当該様式のみ本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可）
 - イ. 在留カードのコピー（表裏）（別紙様式 2-5）
 - ウ. 学業成績証明書
 - エ. GPA 証明書（学業成績証明書に記載されている場合は省略可）
 - オ. 在学証明書
- (2) 大学は、前記（1）の申請者の中から適当と認めた者について、学長の推薦書（別紙様式 2-4）を添え、本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> の S G H 奨学生申請フォームより推薦する。

6. 応募締切日

2026 年 4 月 17 日（金）

7. 選考及び決定

5 により大学から推薦があった者（1 名）について、本財団に設ける選考委員会に諮り、理事会の決議を経て決定する。

その結果については、在学する大学を通じて応募者本人に通知する。

(2026 年 5 月下旬頃を予定)

8. 奨学金の休止・停止及び期間の短縮

給付対象者の確定後、奨学生に次の各号に定める事項が認められる場合は、奨学金の給付を休止、停止及び給付期間の短縮を行うことができる。

- (1) 奨学生が休学又は長期にわたって欠席したとき。
- (2) 奨学生の学業又は性行等の状況により、奨学生として適性を欠くと認められるとき。

9. 奨学金の復活

8により、奨学金の給付が休止若しくは停止され、又は、期間を短縮された奨学生について、その事由が解消されたと認められる場合は、奨学金の給付を復活することができる。この場合、給付期間は通算2年間とする。

10. 奨学金の打切り

奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を打切ることができる。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 大学若しくは大学院において懲戒等の処分を受け、成業の見込みがないと判断される時。
- (3) 申請時と異なる大学若しくは大学院に転学又は進学したとき。
ただし、指導教員の転勤等により奨学生が転学又は進学する場合を除く。
- (4) その他本財団奨学生としての不適格な状態となり、資格を失ったと判断される時。

11. 転退学

奨学生が退学又は他の大学若しくは大学院へ転学した場合は、特別の事情があると認められるときを除き、奨学金の給付を辞退したとみなす。

12. 返納

奨学金の給付後において、8、10、又は11の各号の事由が生じていたことが判明した場合には、既に給付した奨学金の全部又は一部は返納させることができる。

13. 報告書の提出

本財団が、奨学生に学業・研究等について照会を求めた場合は、これについて報告書を提出しなければならない。

14. 届出の義務

奨学生は、次の各号の一つに該当する事情が生じた場合は、本財団に届け出なければならない。ただし、本人が疾病等のために不可能なときは、所属大学又は家族から届け出なければならない。

- (1) 傷病、その他の事故により、1 カ月以上欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転科、転学部及び退学したとき。
- (3) 他の奨学機関から給付を受けるとき。
- (4) 本人、家族の身上、住所等、重要な事項に異動があったとき。
- (5) その他本財団が上記各号等について確認を求めたとき。

15. 注意事項

他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者とししない。

問合せ先

〒 600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 79 番地
ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

公益財団法人 S G H 財団 事務局

MAIL info_ss@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp>

TEL 075-255-9310

FAX 075-255-9311

個人情報の保護について:

申請書に記載された内容・提出書類は個人情報として保護されます。

ただし、次のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類審査・選考のため選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学担当者及び奨学団体に「被推薦者・合格者一覧」を提供。

公益財団法人SGH財団

2026年度 私費外国人留学生奨学生申請書

(大学院修士課程)

- 記入上の注意
- ①日本語で記入
 - ②自筆のこと

1. 氏 名 (カタカナ) _____

(パスポート記載の英語表記) _____

2. 国 籍 _____

3. 生年月日 _____年 _____月 _____日 (満 _____歳 _____ヵ月)
(年齢は、2026年4月1日現在で記入のこと)

4. 現住所 〒 (_____) _____

電話番号 (_____) _____

5. 在籍大学 _____ 大学院 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 課程 _____ 年次 _____
(2026年 _____月 _____日現在) 理系 文系

入学年月日 _____年 _____月 _____日 入学

所在地 〒 (_____) 電話番号 (_____) _____

6. 学 歴

教育機関の種類	学校名および所在地	修学年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位または資格等
高等学校から	学校名 所在地	年	入学 _____年 _____月 卒業 _____年 _____月		
	学校名 所在地	年	入学 _____年 _____月 卒業 _____年 _____月		
	学校名 所在地	年	入学 _____年 _____月 卒業 _____年 _____月		
	学校名 所在地	年	入学 _____年 _____月 卒業 _____年 _____月		

7. 日本語の学習歴 日本への入国年月： _____年 _____月

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習期間 _____年 _____月から _____年 _____月まで (_____年 _____ヵ月間)

(3) 日本語能力 _____上級・中級・初級(※) 日本語能力試験：N (_____) 合格

(※) 該当すると思うレベルに○印を付すこと。

8. 職 歴 (アルバイト含む)

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

9. 家庭状況

氏名	続柄	年齢	職業	年収額	住所
	父			万円	
	母			万円	

・ 年収額は、見込額も含め、必ず1年間分（12ヵ月分）の概算額または予定額を記入すること。
 無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

10. 経済状況（2025年月額平均を記入）

・ 次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。
 なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額のコレは、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 _____ 円 ※①から④の合計を記入

- ① 仕送り額 月額 _____ 円
 (仕送り者との続柄および職業) 続柄 _____ 職業 _____ (仕送り者の年収額) _____ 円
- ② アルバイトの収入額 月額 _____ 円 職種 _____
- ③ アルバイト以外の収入額 月額 _____ 円 預金引出・配偶者の収入・その他 (_____)
 (該当するものに○印を付すこと)
- ④ 奨学金 月額 _____ 円 名称 _____
 受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 (終了20 _____ 年 _____ 月)

(2) 1ヵ月の平均支出額 _____ 円 (生活費を計上のこと) ※①から④の合計を記入

- ① 住居費 月額 _____ 円
 自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他 (_____)
 (該当するものに○印を付すこと)
- ② 授業料その他大学所定の納付金等 月額 _____ 円
- ③ 食費 月額 _____ 円
- ④ その他の支出額 月額 _____ 円 (交通費等日常経費を具体的に記入のこと)
 内訳項目 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2026年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2025年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団体名 _____ 月額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のおり記載事項に相違ありません。

私は、2026年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたく申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2026 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

研究主題および研究計画・内容等について

(指導教員名)

(研究主題)

(研究計画・内容等)

2026 年度

推薦理由書

(大 学 院 修 士 課 程)

公益財団法人SGH財団
理事長 栗和田 榮一 殿

カタカナ		国籍	
氏名 (英語表記)		生年月日	年 月 日生
大学名	大学大学院	入学年月	年 月 入学
研究科	研究科	専攻	専攻 年次 年次 (2026年度)

推薦理由 (他の学校から編入された留学生の場合、その学校の成績について推薦者の判断を併せて明記して下さい)

推薦者 (指導教員等)

2026 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名



2026 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏

公益財団法人SGH財団

2026 年度

私費外国人留学生特定奨学生募集要項

(大学院博士後期課程)

2026 年度特定奨学生募集について、博士学位取得を目指す日本の大学の大学院博士課程に在学する私費外国人留学生の中から奨学金の受給者（以下「特定奨学生」という）を下記の要項により募集する。

記

1. 応募資格

特定奨学生に応募できる者は、東南アジア諸国（注1）の国籍を有する私費外国人留学生（注2）で、2026年4月1日現在（注3）において、下記の要件をそなえる者とする。

- (1) 博士後期課程2年次、4年制博士課程（医・歯・獣医・薬学部）3年次又は一貫制博士課程4年次に進学する35歳未満の者。
- (2) 学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者。
- (3) 他の奨学金を受給していない者。
- (4) 奨学金の給付期間中において、当財団が主催するオリエンテーション・交流会・採用証書授与式に出席できる者。
オリエンテーション：2026年7月3日（金）開催予定
交流会：2026年10月17日（土）～18日（日）開催予定
採用証書授与式：2026年10月19日（月）開催予定
- (5) 特定奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者。

注1：東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。
フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ
ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア・東ティモール

注2：「私費外国人留学生」とは、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」という在留資格により、日本の大学、大学院において教育を受ける外国人学生で、日本政府から奨学金を受給していない者をいう。

注3：春期入学のみ対象・秋期入学は対象外

2. 特定奨学生採用予定人員

2名程度

3. 奨学金

特定奨学生として採用した者に対して、奨学金 月額 180,000 円を毎月 5 日迄に給付する。

4. 奨学金の給付期間

奨学金の給付期間は 2 年間とする。(2026 年 4 月から 2028 年 3 月まで)

5. 応募の手続き

- (1) 特定奨学生に応募する留学生は、大学院博士後期課程の申請書等〈別紙様式 3-1、3-2〉に自筆、日本語で、所定の用紙内に収まるように記入の上、下記の書類を添えて、在学する大学が指定する日までに提出しなければならない。
なお、様式 3-2-③、3-2-④については、本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロードの上、テキスト入力で提出すること。

【注意】記入は黒いペンで楷書、アルファベットは活字体を使用

- ア. 指導教員等の推薦理由書〈別紙様式 3-3〉
(本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可)
- イ. 在留カードのコピー(表裏)〈別紙様式 3-5〉
- ウ. 学業成績証明書(修士修了時の成績証明書を提出)
- エ. GPA 証明書(学業成績証明書に記載されている場合は省略可)
- オ. 在学証明書

- (2) 大学は、前記(1)の申請者の中から適当と認めた者について、学長の推薦書〈別紙様式 3-4〉を添え、本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> の S G H 特定奨学生申請フォームより推薦する。

6. 応募締切日

2026 年 4 月 17 日(金)

7. 選考及び決定

5により大学から推薦があった者(2名以内)について、本財団に設ける選考委員会に諮り、理事会の決議を経て決定する。
その結果については、在学する大学を通じて応募者本人に通知する。なお、選考過程によっては、面接(Web含む)を実施する場合がある。

(2026 年 5 月下旬頃を予定)

8. 奨学金の休止・停止及び期間の短縮

給付対象者の確定後、特定奨学生に次の各号に定める事項が認められる場合は、奨学金の給付を休止、停止及び給付期間の短縮を行うことができる。

- (1) 特定奨学生が休学又は長期にわたって欠席したとき。
- (2) 特定奨学生の学業又は性行等の状況により、特定奨学生として適性を欠くと認められるとき。

9. 奨学金の復活

8により、奨学金の給付が休止若しくは停止され、又は、期間を短縮された奨学生について、その事由が解消されたと認められる場合は、奨学金の給付を復活することができる。この場合、給付期間は通算2年間とする。

10. 奨学金の打ち切り

特定奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を打ち切ることができる。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 大学若しくは大学院において懲戒等の処分を受け、成業の見込みがないと判断される時。
- (3) 申請時と異なる大学若しくは大学院に転学又は進学したとき。
ただし、指導教員の転勤等により特定奨学生が転学又は進学する場合を除く。
- (4) その他本財団特定奨学生としての不適格な状態となり、資格を失ったと判断される時。

11. 転退学

特定奨学生が退学又は他の大学若しくは大学院へ転学した場合は、特別の事情があると認められるときを除き、奨学金の給付を辞退したとみなす。

12. 返納

奨学金の給付後において、8、10、又は11の各号の事由が生じていたことが判明した場合には、既に給付した奨学金の全部又は一部は返納させることができる。

13. 報告書の提出

本財団が、特定奨学生に学業・研究等について照会を求めた場合は、これについて報告書を提出しなければならない。また、学位を取得した時点で、学位授与証明書（コピーも可）を提出すること。

14. 届出の義務

特定奨学生は、次の各号の一つに該当する事情が生じた場合は、本財団に届け出なければならない。ただし、本人が疾病等のために不可能なときは、所属大学又は家族から届け出なければならない。

- (1) 傷病、その他の事故により、1カ月以上欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転科、転学部及び退学したとき。
- (3) 他の奨学機関から給付を受けるとき。
- (4) 本人、保証人及び家族の身上、住所等、重要な事項に異動があったとき。
- (5) その他本財団が上記各号等について確認を求めたとき。

15. 注意事項

他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者とししない。

問合せ先

〒 600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 79 番地

ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

公益財団法人 S G H 財団 事務局

MAIL info_ss@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp>

TEL 075-255-9310

FAX 075-255-9311

個人情報の保護について:

申請書に記載された内容・提出書類は個人情報として保護されます。

ただし、次のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類審査・選考のため選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学担当者及び奨学団体に「被推薦者・合格者一覧」を提供。

公益財団法人SGH財団

2026年度 私費外国人留学生特定奨学生申請書

(大学院博士後期課程)

記入上の注意

①日本語で記入

②自筆のこと

近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

1. 氏 名 (カタカナ) _____

(パスポート記載の英語表記) _____

2. 国 籍 _____

3. 生年月日 _____年 _____月 _____日 (満 _____歳 _____ヵ月)
(年齢は、2026年4月1日現在で記入のこと)

4. 現住所 〒 (_____) _____

電話番号 (_____) _____

5. 在籍大学 _____ 大学院 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 課程 _____ 年次 _____
(2026年 _____月 _____日現在) 理系 文系

入学年月日 _____年 _____月 _____日 入学

所在地 〒 (_____) _____ 電話番号 (_____) _____

6. 学 歴

教育機関の種類	学校名および所在地	修学年数	入学および卒業年月	専攻科目	取得した学位または資格等
高等学校から	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		
	学校名 所在地	年	入学 年 月 卒業 年 月		

7. 日本語の学習歴 日本への入国年月： _____年 _____月

(1) 学習機関名 _____

(2) 学習期間 _____年 _____月から _____年 _____月まで (_____年 _____ヵ月間)

(3) 日本語能力 _____上級・中級・初級(※) 日本語能力試験：N (_____) 合格

(※) 該当すると思うレベルに○印を付すこと。

8. 職 歴 (アルバイト含む)

勤務先	所在地	勤務時間	職名	職務内容

9. 家庭状況

氏名	続柄	年齢	職業	年収額	住所
	父			万円	
	母			万円	

・年収額は、見込額も含め、必ず1年間分(12ヵ月分)の概算額または予定額を記入すること。
 無収入または不明の場合は、「なし」または「不明」と記入し、空白にしないこと。

10. 経済状況(2025年月額平均を記入)

・次の各事項を留意の上、記入のこと

1. 経済状況は、日常生活に必要な諸費用を記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により、1ヵ月の金額に変動がある場合は平均した月額を記入すること。
3. 平均収入額・平均支出額欄とも、内訳の全項目および金額等を必ず記入すること。
 なお、該当がない項目については「なし」と記入し、空白にしないこと。
4. 平均収入額または平均支出額のコレは、それぞれ内訳の項目金額の合計額と一致すること。

(1) 1ヵ月の平均収入額 _____ 円 ※①から④の合計を記入

- ①仕送り額 _____ 円
 (仕送り者との続柄および職業) 続柄 _____ 職業 _____ (仕送り者の年収額) _____ 円
- ②アルバイトの収入額 _____ 円 職種 _____
- ③アルバイト以外の収入額 _____ 円 預金引出・配偶者の収入・その他 (_____)
 (該当するものに○印を付すこと)
- ④奨学金 _____ 円 名称 _____
 受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 (終了20 _____ 年 _____ 月)

(2) 1ヵ月の平均支出額 _____ 円 (生活費を計上のこと) ※①から④の合計を記入

- ①住居費 _____ 円
 自宅・借マンション・借アパート・借家・下宿・寮・社員寮・同居・その他 (_____)
 (該当するものに○印を付すこと)
- ②授業料その他大学所定の納付金等 _____ 円
- ③食費 _____ 円
- ④その他の支出額 _____ 円 (交通費等日常経費を具体的に記入のこと)
 内訳項目 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円
 _____ 月額 _____ 円

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2026年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2025年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団体名 _____ 月額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2026年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたく申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2026 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

研究主題および研究計画・内容等について

(指導教員名)

(研究主題)

(研究計画・内容等)

主な研究成果

① 学会報告等

※ 発表形式は口頭、ポスターなど(オンラインも含む)。

※ 著者名は全員の氏名を記載し、発表者に下線を引く。

発表年月日	発表形式	報告等の題目(著者名)	発表学会名等
(例)2025.3.10	口頭	○○に関する研究(氏名1,氏名2,氏名3) <div data-bbox="549 562 1123 824" style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;">本様式は、本財団ホームページ https://www.sgh-foundation.or.jp からダウンロードの上、テキスト 入力にてご提出願います。</div>	第50回○○学会大会

② 公表論文等

※ DOIはオンラインジャーナルでは必須。それ以外では任意。

※ 著者名は全員の氏名を記載し、発表者に下線を引く。

著者名、論文等の題目、学会誌名、巻(号)、頁、出版年、DOI

(例) 氏名1, 氏名2, 氏名3, ○○に関する研究, ○○学会誌 50(1), 123-130, 2020, 10.1234/ja567890x

本様式は、本財団ホームページ
<https://www.sgh-foundation.or.jp>
からダウンロードの上、テキスト
入力にてご提出願います。

2026 年度

推 薦 理 由 書

(大 学 院 博 士 後 期 課 程)

公益財団法人SGH財団
理事長 栗和田 榮一 殿

カタカナ			国籍		
氏名 (英語表記)			生年月日	年	月 日生
大学名	大学大学院		入学年月	年	月 入学
研究科	研究科	専攻	専攻	年次	年次 (2026年度)

推薦理由 (他の学校から編入された留学生の場合、その学校の成績について推薦者の判断を併せて明記して下さい)
①出願者の学力、②独創性、③将来性について具体的にご記入ください

推薦者 (指導教員等)

2026 年 月 日

所属機関		
職 名		
氏 名		印

2026 年度

学位取得の可能性について

(大 学 院 博 士 後 期 課 程)

(推薦理由書と合わせてご提出くださいますようお願い申し上げます。)

(1) あなたはこの申請者をいつからご存じですか？

(年 月 から 約 年 ヲ月)

(2) ご指導なさる立場から、この申請者をどう思われますか。

下記の設問について当てはまる記号に○をつけてください。

(A=はい B=どちらともいえない/わからない C=そうでもない)

- a. 自分の意見を進んで発表する (A B C)
- b. 指示がなくても自主的に課題を進める (A B C)
- c. 他者の意見も自由に聞き、必要なら積極的に採り入れる (A B C)

(3) 下記の質問に対し、線上の適当と思う位置に○印をつけてください。

a. この申請者は、予定の期間内に、博士号を取得できると思われますか。

非常にむずかしい 必ず取得できる

I-----I-----I-----I-----I

b. この申請者の研究が公表されると、当該学会でどの程度の評価が得られると思われますか。

非常に低い評価 非常に高い評価

I-----I-----I-----I-----I

c. この申請者は、将来国際交流の面で有為な人物となると思われますか。

非常にむずかしい 非常に確率が高い

I-----I-----I-----I-----I

推薦者 (指導教員等)

2026 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名

㊟

2026 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏

よくある質問

FAQ (1/2)

Q1	募集要項の注意事項に「他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者としなない」と記載があります。これは他財団だけでなく、大学独自の学内奨学金も併給不可ですか？また、申請時点で他の奨学金（学内奨学金含む）を受給している学生については対象外となりますか？
A1	現状、当財団は授業料の減免に関しては認めておりますが、大学独自の学内奨学金は、当財団の奨学金給付との併用を認めておりません。また、申請時点で奨学金を受給している方は、ご応募自体は可能です。仮に当財団の奨学生として採用が決定した場合に、どちらかを選択していただくこととなります。
Q2	高等専門学校から3年次編入生として入学する留学生または日本の他大学の学部を卒業し、修士課程1年次として入学する留学生の推薦理由書は誰に書いてもらえばいいですか？
A2	ご本人を一番よく知っている方が推薦理由を書きやすいと思いますので、高等専門学校の方または他大学の指導教員の方に書いていただき、貴大学からご推薦いただくことに関しまして問題ありません。
Q3	海外の大学の学部を卒業し、修士課程1年次として入学する留学生の推薦理由書は誰に書いてもらえばいいですか？
A3	以前の母国の大学の指導教員ではなく、貴大学の新たな指導教員に記入していただきたく存じます。指導開始前でも問題ありません。
Q4	指導教員による推薦理由書は、手書きでなく、HPからダウンロードの上、パソコン入力したものを提出してもいいですか？
A4	推薦者の方によるパソコン入力での提出で結構です。
Q5	直近で卒業した大学が母国の大学の場合、母国語標記の学業成績証明書に加え、英訳もしくは日本語訳は必要になりますか？
A5	英訳もしくは日本語訳を併せてご提出いただけると幸いです。母国の学業成績証明書の場合、原本ではなく、コピーの提出で結構です。訳につきましてもコピー可です（学生による訳ではなく、正式に訳されたものがあれば最良）。

よくある質問

FAQ (2/2)

Q6	高等専門学校から3年次編入生として入学する留学生の学業成績証明書ならびに GPA 証明書は、いつのものを提出すればいいですか？
A6	高等専門学校のときのもので結構です。
Q7	GPA の数値は、学業成績証明書に小さく記載されています。これを GPA 証明書として提出してもいいですか？
A7	GPA の数値が載っていれば、様式は問いません。GPA については、証明書という形ではなくても、GPA の数値が記載されているものであれば、どんな形でも結構です。例えば、学生本人のポータルサイト画面等に GPA が表示されるのであれば、その画面をハードコピーしていただいても構いません。
Q8	本学では GPA を算出する形式をとっておりません。どのように GPA 証明書を提出すればいいですか？
A8	<p>GPA を採用していない大学には、下記の内容をご確認いただき、学生ご本人の学業成績証明書をもとに下記の計算式にあてはめ計算した上で、学業成績証明書に添えてご提出をお願いいたします。</p> <p>各科目 (ポイント×単位数) の合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p> <p>90～100 点・秀・A=4.0 ポイント</p> <p>80～89 点・優・B=3.0 ポイント</p> <p>70～79 点・良・C=2.0 ポイント</p> <p>60～69 点・可・D=1.0 ポイント</p> <p>GPA = (4.0×秀の単位+3.0×優の単位+2.0×良の単位+1.0×可の単位数) ÷総単位数 (不可も含)</p> <p>ひな形等、様式はありません。</p>

上記の内容で解決できない、他に質問がある場合は、下記メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

《問合せ先》

メールアドレス： info_ss@sgh-foundation.or.jp

担当者：公益財団法人 SGH 財団事務局 ウイ シアウ イン

(在宅ワークをしておりますので、メールでの問い合わせをお願いいたします)

経済状況調書 Personal Financial Statement

※この調書は学内選考において使用されます。*This statement will be used in the internal selection process.

留学生種別	<input type="checkbox"/> 私費留学生 Privately-Financed International Student <input type="checkbox"/> 国費留学生 MEXT Scholarship Student																								
奨学金の受給歴 Scholarship History (受給予定のものを含む) (Include scholarships to be received)	名称 _____ 月額 _____ 円 Name Monthly amount yen 受給期間 : _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 Period from Year Month To Year Month																								
	名称 _____ 月額 _____ 円 Name Monthly amount yen 受給期間 : _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 Period from Year Month To Year Month																								
収入 Income	収入 _____ 円 ※1ヶ月平均・世帯収入を記入のこと Income Yen ※ Enter average monthly household income <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【内訳】 Breakdown 仕送り _____ 円 Remittances from your family yen 自己資金 _____ 円 Personal funds yen アルバイト _____ 円 Part-time jobs yen TA・RA _____ 円 yen 奨学金 _____ 円 Scholarship yen その他 _____ 円 Other yen (内訳 _____) Breakdown </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 同居の配偶者等の収入 Income of spouse living with you _____ 円 yen 【内訳】 Breakdown アルバイト _____ 円 Part-time jobs yen TA・RA _____ 円 yen 奨学金 _____ 円 Scholarship yen その他 _____ 円 Other yen (内訳 _____) Breakdown </td> </tr> </table>	【内訳】 Breakdown 仕送り _____ 円 Remittances from your family yen 自己資金 _____ 円 Personal funds yen アルバイト _____ 円 Part-time jobs yen TA・RA _____ 円 yen 奨学金 _____ 円 Scholarship yen その他 _____ 円 Other yen (内訳 _____) Breakdown	同居の配偶者等の収入 Income of spouse living with you _____ 円 yen 【内訳】 Breakdown アルバイト _____ 円 Part-time jobs yen TA・RA _____ 円 yen 奨学金 _____ 円 Scholarship yen その他 _____ 円 Other yen (内訳 _____) Breakdown																						
【内訳】 Breakdown 仕送り _____ 円 Remittances from your family yen 自己資金 _____ 円 Personal funds yen アルバイト _____ 円 Part-time jobs yen TA・RA _____ 円 yen 奨学金 _____ 円 Scholarship yen その他 _____ 円 Other yen (内訳 _____) Breakdown	同居の配偶者等の収入 Income of spouse living with you _____ 円 yen 【内訳】 Breakdown アルバイト _____ 円 Part-time jobs yen TA・RA _____ 円 yen 奨学金 _____ 円 Scholarship yen その他 _____ 円 Other yen (内訳 _____) Breakdown																								
親族の経済状況 Financial situation of relatives	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>職業 Occupation</td> <td>年収 Annual income</td> <td></td> </tr> <tr> <td>父 Father</td> <td>(_____)</td> <td>(_____)</td> <td>円 yen</td> </tr> <tr> <td>母 Mother</td> <td>(_____)</td> <td>(_____)</td> <td>円 yen</td> </tr> <tr> <td>兄弟 Siblings</td> <td>(_____)</td> <td>(_____)</td> <td>円 yen</td> </tr> <tr> <td>(_____)</td> <td>(_____)</td> <td>(_____)</td> <td>円 yen</td> </tr> <tr> <td>(_____)</td> <td>(_____)</td> <td>(_____)</td> <td>円 yen</td> </tr> </table>		職業 Occupation	年収 Annual income		父 Father	(_____)	(_____)	円 yen	母 Mother	(_____)	(_____)	円 yen	兄弟 Siblings	(_____)	(_____)	円 yen	(_____)	(_____)	(_____)	円 yen	(_____)	(_____)	(_____)	円 yen
	職業 Occupation	年収 Annual income																							
父 Father	(_____)	(_____)	円 yen																						
母 Mother	(_____)	(_____)	円 yen																						
兄弟 Siblings	(_____)	(_____)	円 yen																						
(_____)	(_____)	(_____)	円 yen																						
(_____)	(_____)	(_____)	円 yen																						
住居 Housing	家賃月額 Monthly rent: _____ 円 yen <input type="checkbox"/> 国際交流会館 International House <input checked="" type="checkbox"/> ユニバーシティ・ハウス University House <input type="checkbox"/> 企業等の社宅 Company housing <input type="checkbox"/> 県・市営住宅 Prefectural and municipal housing <input type="checkbox"/> 民間アパート・マンション Apartment <input type="checkbox"/> その他 (_____) Other																								
授業料 Tuition	現在の学期 Current Semester <input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 3分の1免除 <input type="checkbox"/> 自己負担 <input type="checkbox"/> 申請中 Total exemption Half exemption One third exemption Self-paid Applied, awaiting results 前学期 Previous Semester <input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 3分の1免除 <input type="checkbox"/> 自己負担 <input type="checkbox"/> 入学前 Total exemption Half exemption One third exemption Self-paid Not yet enrolled																								
次世代研究者挑戦的研究プログラム Pioneering Research Support Project for PhD Students 又は 国際卓越研究者育成支援プログラム or Advanced Graduate School Initiative for International Scholarly Excellence Program	<input type="checkbox"/> 採用されています。 <input type="checkbox"/> 採用されていません。 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 申請予定 Accepted Not accepted Applied, awaiting results Planning to apply for 受給期間 : _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 Period from year month to year month																								
総長特別奨学生 President Fellowship	<input type="checkbox"/> 採用されています。 <input type="checkbox"/> 採用されていません。 Accepted Not accepted ※総長特別奨学生で民間奨学金に推薦(採用)された方は、授業料免除申請を取り下げなければならない場合があるため、各学部奨学金担当係に確認して下さい。 *President Fellowship scholars who are also nominated or selected to receive private scholarships may be required to withdraw their exemption applications. Please inquire with the staff in charge of scholarships at your faculty.																								
上記のとおり相違ありません。 I certify that the above information is truthful and accurate.	_____ 年 _____ 月 _____ 日 Year Month Date																								
学籍番号 _____ 氏名 _____ Student ID Number Name																									
注意: 記載事項に虚偽が認められたときは、選考の対象としません。 Note: If any of the entered information is found to have been falsified, your application will be disqualified.																									

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2024.07.01

1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

※Please submit this checklist together with your application materials.

About Scholarship Applications

Tohoku University Education and Student Support Department
Student Exchange Division, International Education Section
July.01.2024

1. Before applying

- If you have any questions about the application requirements or how to fill out the forms, please inquire with the person who handles scholarships in your department. Do NOT send your inquiry directly to the scholarship organization.
- Recipients of the President Fellowship or other scholarships that pay tuition may not be eligible to apply for tuition exemptions for the duration of the scholarship. Please check in advance with the person who handles scholarships in your department.

2. Pre-application checklist

Handwritten/electronic applications

- I have confirmed the application qualifications and recipient duties (e.g. required attendance at award ceremonies/exchange activities, periodic reports etc.).
- I have prepared all the necessary application documents.
- I am not applying for/receiving other scholarships that forbid simultaneous receipt of multiple scholarships.
- I checked the travel costs, location, and date of the interview (if applicable) and am sure I can attend.
- I entered my undergraduate/graduate school's full name, without abbreviations.
- I followed all the scholarship organization's warnings and instructions on how to complete the application materials.
- I used at least 70% of the space provided for essay/short-answer items.
- I entered an appropriate response, such as "0" or "NA," for items not applicable to me.

Handwritten applications

- I used a black ballpoint pen. *Not an erasable pen
- My application documents are legible to others.
- I did not use correction tape/fluid to fix mistakes. *If you make a mistake on your application, you should stamp any corrections with your personal seal, or rewrite the application on a new form.

If any application materials have any deficiencies, your application may receive a low rating during the Tohoku University screening. Be sure to double check your application before submitting it, write your name below, and submit this checklist together with your application materials (it can be submitted electronically).

Student ID Number:

Name:

※ You must contact the person who handles scholarships in your department and inform them in advance if you plan to directly apply for a scholarship/scholarship extension instead of applying through the university.

*2025年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年	年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名			指導 教員		研究室 TEL
氏名	(漢字)				既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学					年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館		
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館		
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町		
	国際交流会館東仙台会館				
	県・市営住宅・民間アパート(住所)		

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2025年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2024年10月から2025年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2024年10月入学の場合は2024年10月から2025年3月までについて記入してください。

収入		支出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合計	円	合計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2025	後期	申請中	申請なし			
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）